

あかしや（朱四舎）教育

学校教育目標

自ら学ぶ朱四舎の子

～愛する心を育み、生きる力を育てる～

＜設定の理由＞

これからの社会は、ますます急激な変化が進み、目指すべき未来社会の姿は、既に Society5.0 の中にあるとも言われている。社会が変われば、社会に必要とされる人材も変わってくる。私たちは、そのような状況を常に見極め、目指す教育の在り方を考え、その実現に向けて研鑽を積まなければならない。また、このような社会の変化に対応し、新たな教育の創造に全力を注いでいかなければならない。

さらに、急激に変化する時代の中で、学校教育には、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力や人間性」といった三つの力をバランスよく育む教育を実現することが求められている。「個別最適な学び」と「協働的な学び」のそれぞれの学びを一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげ、「令和の日本型学校教育」の姿を追求すべく、研究を続ける必要がある。目指す方向がどのように変化しても、その基盤にあるものは、人権意識であり、何に対しても、また、何事に対しても大切にすることである。以上のことから、今年度は、学校教育目標を「自ら学ぶ朱四舎の子」とし、人権教育と環境教育とを大きな柱にした「あかしや教育」の充実に取り組んでいく。

また、この3年間で一気に加速した GIGA スクール構想は、一定、定着しつつある。これからは、ICT機器の活用も含め、児童の学びを保障していき、私たち公教育に携わる者として、一人一人の子どもを徹底的に大切にする教育を追究していかなければならない。子どもたちがこれから生きていく新たな未来社会では人工知能「AI」があらゆる分野で応用され、多くの人間の仕事が「AI」に変わることも予想されている。そんな未来社会をたくましく生き抜いていくためには、ICT機器を利活用しながら社会の変化に柔軟に対応し、互いに知恵を出し合い、問題を解決する力が必要となってくる。

本校の子どもの実態を見てみると、素直で、学校のきまりや約束を守り、落ち着いて学校生活を過ごしているが、しっかりと自分の考えが言えなかったり、物事に対して受け身の姿が見られたり、将来への夢や希望などが持ちにくかったりする傾向が見られる。そのため、まず、自分の思いや考えをしっかりと持ち、協働的に問題を解決する学習の中で、相手の考えを尊重し、相手を意識した話し合いを行い（合意形成）、物事を多面的、総合的、批判的に考える力を育てていきたい。また、学んだことを社会で実践する力をつけて、その力をしっかりと自分の夢や希望につなげる将来展望につなげたい。

学校教育目標を達成させるためには、学校と家庭、さらに地域との連携が必要である。社会に開かれた教育課程を全教職員が、マネジメントし、朱雀大路コミュニティ（学校運営協議会）とも連携しながら、「チームあかしや」として学校の教育活動全体に効果的なつながりをつくっていききたい。

めざす子ども像

あ
か
し
や

あいさつをする子

かんがえる子

じぶんから行動する子

やさしい子

【自らあいさつができる子】

【あらゆる角度から、総合的に深く考える子】

【課題解決に向けて主体的に活動する子】

【人も自然も大切にできる子】

自ら学ぶ朱四舎の子

～愛する心を育み、生きる力を育てる～

持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向かうESD

未来に向けて持続可能な社会づくりを担う子を育む人権・環境教育

～教科のつながり、地域・社会とのつながりを生かし、個別最適で主体的・対話的で深い学びを目指す～

保護者

学 校

地 域

朱雀大路コミュニティ(社会に開かれた教育課程)
みんなから愛され みんなが誇れる学校
人と環境にやさしい街 朱四学区

学力向上

○あかしやモデル ○協力指導・教科担任制 ○主体的・対話的で深い学び
○実践的英語力の育成 ○授業力向上 ○基礎学力の向上 ○家庭学習の充実
○あかしや環境(エネルギー)プログラム ○カリキュラムマネジメント
○課外学習の充実 ○言語活動の充実 ○GIGA スクール構想

人権意識向上

○人権学習(憲法、いじめ、総合育成支援、性や命、同和、男女平等・ジェンダー、外国人、情報モラル)
○探究的な人権学習 ○しなやかな道德教育の充実 ○ハートフルフォーラム
○インクルーシブ教育 ○かがやき事業【伝統(茶道体験)・芸術・自然】

生活向上

○いじめアンケート→トークフル週間 ○クラスマネージメントシートの活用
○みんなの合言葉 ○自己指導能力の育成 ○児童会活動の充実 ○ケース会議
○見守り隊 ○基本的生活習慣の確立 ○家庭との連携 ○キャリア教育 ○食育
○体育健康教育 ○防災・安全教育

グリーンカーテン

ごみOの取組
朝のあいさつ運動
地域行事への協力・協賛
花火大会
ふれあい秋祭り
区民運動会

よんきゅう絆プロジェクト小中一貫教育目標

「将来を拓き しなやかに生きる子どもの育成」
めざす子ども像

1 人を大切にする 2 あいさつをする
3 進んで学習する 4 自分の考えを表現する
5 からだを大切にする 6 地域を愛する

学力向上 生活向上 教職員連携 英語教育
部活動体験 ふれあい体験 in 中学校
教科としての英語 公開研究授業

ごみOの取組

学校関係者評価の活用
昔遊び・読み聞かせ
茶道体験
エコレンジャー
ごみO
図書館運営
読書週間 交通巡視員

あかしや（朱四舎）教育取組の重点

学力向上

○あかしやモデル

- ・児童の思考の変容や協働的な学びの成果が見え、評価に活用できる「あかしやモデル」

○つきたい資質・能力

- ・あかしや教育でつきたい資質・能力と新しい学習指導要領で定められた三つの資質・能力の関連の明確化
- ・自分にどんな資質・能力が身に付き、何が課題なのかがわかり（自己認識）新たな自分を目指す励み（新たな飛躍）になるような自己評価の構築

○協力指導・教科担任制

- ・専科教育
- ・学年間の教科担任制（学年全体の指導）
- ・少人数習熟度別学習

○GIGA スクール構想

- ・GIGA スクール推進主任を中心にしたチーム学校としての取組

○主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング） 小中一貫公開研究授業

- ・体験活動、校外学習、作業的活動
- ・子ども同士が互いの意見を深め合う活動（討論・ディベート・グループワークなど）

○プログラミング的思考の育成とプログラミング教育

- ・物事を論理的に考えたり、目的やそれを達成するためのプロセスを明確に描いたり、知識や情報を整理したりする力の育成
- ・総合的な学習の時間の中でのプログラミング教育（人感センサー等エコを切り口に）

○グローバル化に対応する実践的英語力とコミュニケーション力の育成

- ・高学年の中学英語科非常勤講師との TT と低・中学年の ALT 活用
- ・高学年一年間70時間 中学年一年間35時間 2年一年間15時間 1年一年間10時間
- ・英語力の育成に向けての環境整備（校内掲示・教材整理）
- ・小中連携における英語科のつなぎをスムーズにするための読む・書く英語の試行
- ・総合的な学習の時間の中での英語を実践・活用する場面の追究

○授業力向上（研修プロジェクト）

- ・年間1回のティーチングプランによる授業公開（若年研修会企画）
- ・研究教科の授業、別の教科・領域での授業（示範授業・若年研修企画）

○探究的なあかしや環境プログラム

- ・課題がスパイラルに高まる（発見 追究 提案 熟成 表現課題）探究的な単元構想
- ・新たなエネルギー教育の単元の充実

○社会に関かれたカリキュラム・マネジメント

- ・教科・領域(特に道徳)と環境・人権教育(生活・総合)との効果的なつながりの追究
- ・地域人材・公共機関・校種間連携・企業・NPO、専門家等の発掘と有効活用
- 新たな出会いや効果的なつながりの構築

○基礎学力の向上

- ・授業と連動する家庭学習の充実 自学自習の習慣化 小中一貫家庭学習スタンダード
- ・朝チャレンジ 月・火・水・木・金 読書
- ・昼チャレンジ ドリル練習（計算・漢字・GIGA）

○課外学習の充実

○パワーアップ学習会—算数検定 補習学習等

○言語活動の充実 記録・要約・説明・論述・発表等の充実

○LD等支援の必要な子の学力向上

- ・UD化した教室環境 ひらがな聞き取りテスト等アセスメントの実施→少人数指導

人権意識向上

○系統的な人権学習の充実

- ・全学年同じテーマで道徳・学級活動においての系統的な学習
- ・あかしや通信やホームページ、学年だより等での地域や保護者への啓発
- ・校内掲示板の活用
- ・高学年の男女平等教育でのセクシュアル・マイノリティ（LGBTQ）の理解

○探究的な人権学習

- ・3～6年生は人権学習の約20～30時間
- ・3年総合育成支援教育 4年男女平等教育 5年外国人教育 6年国際教育
- ・課題がスパイラルに高まる（発見 追究 提案 熟成 表現）探究的な単元構想
- ・低学年は生活科の中から人権学習の単元の構築
（体験的な学習→新たな気づき→伝え合い表現する学習→気づきの質を高める）

○しなやかな道徳教育の充実（考え、議論する道徳の授業）

- ・道徳教育の充実—基本木曜5校時を道徳の時間とした道徳の時間の充実
- ・教科道徳の時間における評価のありかたの追究（あかしやモデル）

○インクルーシブ教育（心のバリアフリーの推進）

○伝統（茶道体験）・芸術・自然

- ・茶道体験（4年生）

生活向上

○いじめアンケート→トークフル週間

- ・いじめアンケートの活用と丁寧な聞き取りと事後指導

○クラスマネージメントシートの活用

すべての子どもの「心の居場所づくり」に向けた子どもとの信頼関係の構築

○小中一貫の「みんなの合言葉」の徹底

- ・時間は守るなあかん 24時間はかえてこおへん 5分前行動大切に
- ・ニコニコ笑顔で広げよう あいさつの輪
- ・ふきふきさっさ 今日学校 ピッカピカ

○自己指導能力の育成（生徒指導の三つの機能を生かす）

「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成」

○児童会活動の充実(子どもの主体的・自発的な活動を重視する)

- ・あかしやタイム 挨拶運動 ベル着 その他集会活動等

○ケース会議 外部機関とも連携したチームによる児童・担任の困り支援

○見守り隊（休み時間や放課後の公園等）

問題行動の未然防止と休み時間や課外の児童理解を目的とした見回り

○基本的生活習慣の確立 生活調べ等を活用して課題がある家庭を指導

○家庭との連携の充実 家庭訪問や普段の児童からの情報の中で共育関係の構築

○キャリア教育 生き方探究教育の充実→夢や希望のある将来展望

○体育健康教育の充実

- ・体育学習や運動部活動のよる一層の充実
- ・生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育成

○食育 学校給食を「生きた教材」とした食に関する指導の推進

○安全教育の充実 子どもが学校や地域で危険を予測し、適切に行動できる力を育成

○防災教育 自らの命を守り抜くために「主体的に行動する態度」を育成

○働き方改革（取組の効率化）

- ・専科の導入 行事等の精選と改善 OJT カリキュラム・マネジメント 定時退庁